

市民としての一体感をもって

新しい百年に向けての胎動が始まる



平成15年度の市政を推進するための当初予算がまとまり、2月28日から開かれた3月定例市議会に関連の条例とともに上程されました。

光武市長は、総額784億9825万円の平成15年度一般会計当初予算など46議案の提案理由を説明し、新年度の施政方針を語りました（当初予算の説明は5月号に掲載します）。

平成15年度施政方針（要旨）

2期8年を振り返って

20世紀から21世紀へと向かう歴史的な転換点とその歩みを同じくして、本市も市制施行百周年という大きな節目を迎えました。市制施行百周年にかかわるさまざまな記念行事を通じて、私は、市民の皆さまのふるさと佐世保への想いと情熱を肌で感じ取ることができました。市民としての一体感も十二分に醸成され、新しい百年に向けての胎動が始まっているように思えます。

市長としての2期8年の政策・事業を顧みますと、駅周辺再開発

事業、ポータルネットワーク21計画などの基盤整備については、着実に完成に近付きつつあります。また、西九州自動車道についても、佐世保インターチェンジ（仮称）までの「佐世保道路」の完成に向けて、ことし3月末に着工となりました。

今後の課題

併せて、市民の皆さまの視点、意見を施策に反映させる市民協働の関係を構築するための具体的なシステムの実現、子どもを取り巻く教育問題をはじめとする人材育成など「住みたい街 佐世保」の

構築にあたり、肉付けとなる施策の実施が、今後の課題であると考えています。

百周年記念事業で沸き上がったこの活気、高揚を財産として、まずは観光の活性化の鍵となるコンベンション事業の展開やこの夏の全国高校総体の成功へと結び付けていきたいと思えます。また、市町村合併については、世知原町の法定合併協議会を設置して、具体的な協議を始めました。

国内の長引く景気低迷の中で、本市財政も財源不足は避けられない状況であります。一方では、地域経済の活性化、循環型社会の形成、少子・高齢社会への対応、教育文化の充実、既成市街地の再整備、IT（情報技術）を活用し

市政推進に基づく主な事業

すべての人がいきいきと生活できる「暮らしづくり」

1 保健・医療・福祉の充実と地域づくり

二百九十三億二千七百万円

高齢者や障害者の生活支援、在

宅サービスの提供

健康づくり

子ども発達・子育て支援

介護サービス（介護保険、介護予防・生活支援など）

人権行政・同和行政の推進

医療体制の充実

さまざまな文化との出会いによる「人づくり」

2 教育・文化の充実

七十六億二千八百万円

特色ある学校づくりの推進

家庭と地域社会との連携

パソコン教育推進

教育を考える市民会議

アルカスSASEBO管理運営

男女共同参画社会の推進

全国高校総体

新たな価値を生み出す「仕事づくり」

3 地域経済の活性化

七十二億九千七百万円

中小企業経営基盤強化

観光の活性化（観光宣伝、観光客受け入れ基盤整備、観光商品づくり）

多彩な交流を支える「街づくり」

4 生活の安全確保

三十七億五百万円

総合防災訓練、自主防災組織の育成

消防施設整備

みんなで考えよう

市 町 村 合 併

シリーズ⑧

ことし2月3日佐世保市・世知原町合併協議会を設置しました。合併協議会の議事録や資料は、佐世保市・世知原町合併協議会のホームページ（佐世保市のホームページ「www.city.sasebo.nagasaki.jp」からリンク）や市役所6階行政資料閲覧コーナーで公開しています。

会議もすべて一般に公開され、開催日時や場所などは合併協議会のホームページに掲載していますので、ご自由に傍聴してください。

お尋ね 市役所市町村合併事務局（☎1111）

協議会の役割

合併協議会では、佐世保市と世知原町にとって大変重要なことを話し合いますが、今回は協議会の2つの主な役割をご紹介します。

① 合併に向けての事業や制度の統一

佐世保市と世知原町の住民生活に密接にかかわる事業や制度の違いの調整を行います。また、合併後の新市の行政運営にかかわる重要な項目について話し合い、合併するに当たっての約束事となる「合併協定書」の原案をつくります。

② 「まちづくり計画書」の作成

合併後の新市のまちづくりの基本的な方向や、必要となる事業について話し合い、新市の骨格プランとなる「まちづくり計画書」をつくります。

合併協定書と新市のまちづくり計画を作ることで、佐世保市と世知原町の合併後の姿がわかり、これらを基に、両市町の議会の承認を受けることとなります。

5 自然環境の保全と生活環境の整備

五十五億一千三百万円

環境保全啓発、環境教育など

ごみの減量化・資源化

廃棄物処理施設整備

水資源の確保（石木ダム建設推進など）

6 交通体系の整備と市街地・港づくり

七十六億九百万円

道路・交通網整備

佐世保駅周辺再開発事業（レインポー・プロムナード整備など）

ポータルネットワーク21計画の推進

行政拠点地区整備

都市デザイン、バリアフリーによるまちづくり

交通事業

公共交通対策

市民とともに築くまちづくり

7 市民参加と質の高い行政の実現

百七十三億九千万円

行政評価システム

市町村合併推進

まちづくりに向けた市民参加の仕組みの構築

基地問題

前畑弾薬庫の移転・返還

佐世保港のすみ分け

このほか、ハウスステンボス関連緊急観光キャンペーン事業費として、二千九百五十万円を補正しました。